

情報の共有化と組織強化



東京清掃労働組合
 千代田区飯田橋3-9-3
 TEL (3237) 9995
 1部20円

編集責任
 企画・総務局
 多田修一郎

わが組合の綱領

- 一、われわれは健全なる自主的組織を確立し、生活諸条件を確保し、社会的地位の向上を期す。
- 二、われわれは労働者の社会的意義を顕揚し、都区政の徹底的民主化を期す。
- 三、われわれは労働者階級の解放と民主主義日本を建設し、世界平和に貢献せんことを期す。

青年部を含む8支部からの報告

9月4日、連合会館において、第41回組織集会を開催してきました。各支部から委員長・書記長を中心に結集し、課題の提起、質疑を含めディスカッション形式で議論を行いました。



第41回組織集会を開催

細川顧問弁護士を講師に招き「現業労働者の労働基本権とその活用」と題した講演に真剣に耳を傾ける参加者

細川顧問弁護士を講師に招き講演

集会は倉貫常任中執の司会で行いました。来賓のあいさつとして中岡事務局長より、東京清掃は新しい組織体制で、本格的な労働運動としての闘いが行われている。労働者の権利が軽視されている中で、闘い方も再構築していくのが重要。我々が今、何を問われているのかを学習し実践的な運動に生かしてほしいと述べられました。

退職者の庄司会長は、今後も交渉を重ね新規採用勝ち取ってくださ」と励ましの言葉をいただきました。続いて、中里副委員長より、厳しい社会情勢の中で、労働条件を守るためには集団としての団結であること、支部からの報告がなされまを改めて認識する必要があります。

中野支部から「組織強化に向けた取り組み」について、時間外組合活動の協力を減らしていること、米中執から報告。課題と

労働者の権利が軽視されている中で、闘い方も再構築していくかが重要

西村好勝

いかなの問題点を洗い出し、たことで、他支部にも参考その改善策を具体的に挙げ、なる説明がなされました。

葛飾工場支部「業務内容や安全衛生の取組み」について
 葛飾工場支部の佐藤さん 継承で成り立つ部分が多から清掃工場の業務内容や、そのため継続的な新規安全衛生の取組みの説明が採用を勝ち取ることが安全な工場運営に繋がると説明されました。

大田支部「大田区の収集体制の見直し」について
 大田支部の高橋中執から 掃事業をいかに確立し、大田区の収集体制の見直しの課題を克服していくためについて総合的な報告がなされることと話されました。

一組本庁支部「一組本庁が直面している課題」について
 一組本庁支部からは4人 非組合員の組織化など深のパンネーにより、一組本庁が直面している課題について、寸劇を用いて説明も共感できる内容でした。

板橋西支部「交渉体制の確立と組織強化」について
 板橋西支部の萩原中執より 業務を、分担する意識を組合員が持つよう機関会化についての説明があり、図られたと報告を受けました。

目黒支部「昇任に関する取組み」について
 目黒支部の須山書記長より ストの拡大に向け、自治研り昇任に関する取組みについて 活動を含めた様々な取組みについて説明があり、技能長ボ 状況の説明がありました。

墨田支部「墨田区清掃事業のあり方検討会」の報告について
 墨田支部の長妻さんより 来ました。労使が知恵を出し合い、長期的な清掃事業のあり方について説明のあり方を示すことで雇用

組合員ひとり一人が主体性を持ち組織強化の意思統一を

組織力の更なる強化を

中央執行委員長 桐田 達也

組織集会は単組である東京清掃をあらためて認識するとともに、組合員の組織強化を図る集会です。移管後16年、様々な攻撃を受けてきました。賃金は大幅に引き下げ、多くの区で新規採用が見送られたことから、東京清掃組合員も半減している状況です。きびしい16年間を経過しても東京清掃は高い組織率を維持していると思えます。組織は気を緩めると弱体化します。組合員ひとり一人が主体性を持ち組織強化の意思統一を図ることが重要です。短い開催時間ではありますが、有意義な時間を過ごしていただき、更なる発展に向けて議論を進めてください。



に繋がる立案を模索しているとの報告がありました。

青年部「組織強化」について

報告の最後に青年部高木部長より組織強化について、後を締めました。その後、質疑応答を経て、書記長より集約のまとめを行い、桐田委員長は閉会しました。今回の集会は閉会しました。今回の集会の報告を各支部で共有化し、共通の課題として取り組むことで組織強化に繋がります。(西村好勝)

第41回組織集會集約

書記長 染 裕之

課題を整理し 見直すことが大きな成果となる

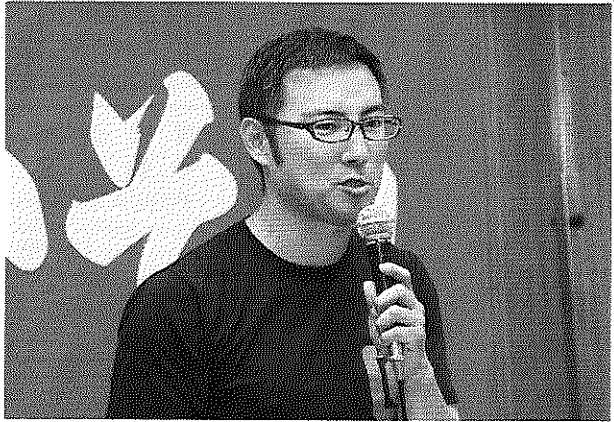
葛飾工場の佐藤さんは、区移管以降、相次ぐ委託労働者の死亡事故発生した中で、労働組合として安全作業を追及し1996年以來の安全ミニノートを作成した経緯の報告がありました。作成には労力を要する作業

限られた時間の集会でしたが、各支部から赤裸々な報告を受けました。悩み苦しみながら報告内容を考えたと思います。

各支部の課題を聞いて

まず中野支部ですが、支部が抱えている問題を包み隠さず報告がなされたと思います。新規採用がない中、組合役員の育成に苦しんでいる様子が理解できました。また、報告内容を準備することで課題の再確認ができたと思います。あらためて課題を整理し、再考することが大きな成果に繋がると

思います。新採用がない中、組合役員の育成に苦しんでいる様子が理解できました。また、報告内容を準備することで課題の再確認ができたと思います。あらためて課題を整理し、再考することが大きな成果に繋がると



上から板橋西支部（萩原中央執行委員）
目黒支部（佐藤書記長）
墨田支部（長妻貴金部長）
高木青年部長

大田区の高橋さんは、収束制の見直しという大きな課題に、弁護士との相談も受け、法的に保証された権利を確認することで有利な交渉に導けることを確認できたと思います。

一組本庁支部からは4名の方から報告を受けました。寸劇を用い、テーマとして重要な内容ですが愉しく拝見することができました。行政職の組織化について

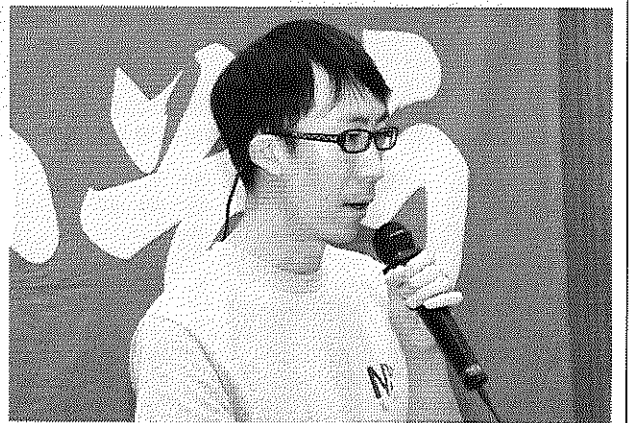
は、東京清掃全体の課題として対応しなければならぬことを再認識しました。

板橋区の萩原中執からは機関会議を見直し、組合員全員が情報周知し、意思決定できる環境へ整えた経緯の報告でした。自治研活動も原点から理解するための学習会を重ね参加者の意思疎通を図り組織強化したことに敬意を表します。

最後に青年部長より1年間の活動報告を伺いました。「学習と交流」という青年部運動を基本とし、組合員の切実な声を反映し、それを全員で共有化できたという報告でした。この職場に入ることにゴールではなく、安定した職を確保するため葉が印象に残りました。

参考となる集会になったと思います。組織された労働組合には良質な公共サービス実現に向けた社会的責任があります。その責任を果たしていく事が、我々の労働条件の確保に繋がると

また、本年は組織集会を一日、自治研集会を宿泊でとしましたが、開催方法は今後の議題となります。具体的な方法は皆さんと共に考えていきたいと思います。報告があったように困難な課題が山積していますが、しっかりと地に足を付けてながら小さくてもしっかりと一歩を踏み出しましょう。



上から中野支部（米脇中央執行委員）
葛飾工場支部（佐藤書記長）
大田支部（高橋中央執行委員）



一組本庁支部の組合員のみなさん